

旅祭 親子招待バスツアー活動報告書

活動日 平成 24 年 6 月 3 日(日)

NPO 法人オンザロード福島支部



【基本情報】

□日時:平成 24 年 6 月 3 日(日)

□引率場所:旅祭WORLD JOURNEY FESTA 2012

□晴海客船ターミナル 特設会場 東京都中央区晴海 5 丁目 7 番 1 号

□参加人数:49 名(大人:20 名 子ども:29 名)

□参加料/入場料:無料

□受益者:福島県在住の子どもたち、またそのご家族



【活動概要】

現在福島県に住む子どもたちの野外活動時間は、制限がかけられており、外で遊ぶ事はもちろん、学校での野外活動も限られているのが現状です。しかしながら、子どもたちにとって、日々の生活の中で思い切り体を動かし、のびのびと遊ぶ事は必要不可欠です。

福島県の子どもたちは、その当たり前の日常生活が送れておらず、体力的な成長面、将来性を考えたうえで大きな問題となっております。

そこでオンザロードでは、今の福島では体験できない外遊びを企画・提供して楽しんで頂くことで、少しでもストレスの軽減を計っていけるような、福島県在住の子どもたちへの支援を継続して行っています。

今回の活動では、オンザロード代表である高橋主催の旅祭に、(株)A-worksとの協働の上、親子招待企画を開催させて頂きました。

「旅祭」とは、まるで旅をしているかのようなトリップ感が味わえる空間の中、トーク、ライブ、ダンスなど様々なステージを展開している野外イベントです。

旅祭イベントプログラムに福島キッズファッションショーを組み込んで頂き、なかなか体験する事のできないファッションショー体験を通して、子どもたちや、保護者のストレス軽減に少しでも繋がればという思いから、旅祭引率活動を実行する事となりました。

また福島の現状を多くの県外の方達に知って欲しいと言う想いを込め、活動概要の紹介やオンザロード出展ブースにてオンザロードグッズの販売やトークライブもさせて頂きました。

親子バスツアー引率企画主催：NPO法人オンザロード福島支部

旅祭企画運営：(株)A-works

ファッションショー企画：コズ株式会社

ファッションショー協力：ZELEネットワーク(ヘアメイク)／BOO FOO WOO(衣装提供)／Breeze Tokyo(演出)／Seiichi Kakinuma(写真)



【活動詳細】

放射能問題の影響があり屋外で思い切り遊ぶ事できない状況、遊ぶ場所を選ばなければならぬ子どもたち、またその家族を引率し、旅祭WORLD JOURNEY FESTA 2012へバスツアーを企画し参加・引率させて頂きました。

また、旅祭会場内にオンザロードブースを出展し、福島の実況の紹介、屋内施設建設の為のグッズを販売しました。また、オンザロード宮城のスタッフ、オンザロード福島のスタッフと共に被災地の現状をブース来客者へと伝えさせて頂きました。

今回の旅祭親子招待バスツアーは朝早く集合してもらい大型バスでの引率だったため、開場へ向かうバスでは、子どもたち含め皆さん眠そうな様子でした。午前10時、会場に到着し、音楽ライブやワークショップに参加し家族の時間を楽しんで頂きました。

現在の福島では、子どもを連れて外で長時間音楽を楽しんだり、屋外活動したりできない地域が多いので、外で家族そろっての行動はとても楽しそうでした。



福島キッズファッションショー参加して頂いた子どもたちはリハーサル時、とても緊張していましたが、モデル沙羅マリーさんからのウォーキング指導を受け徐々にみんな打ち解けていき自分たちが身にまとう衣装を見て本当に嬉しそうでした。

ヘアメイクやお化粧、衣装合わせなど全て初めての体験で、ワクワクドキドキした様子で、殆どの子どもたちが「緊張して出れない！」と言っていましたが、応援に駆けつけてくれたモデルの押切もえさんや、多くの関係者スタッフの皆さんにアドバイスなど頂き、自信をつけていました。



ファッションショーオープニングでは、オンザロード理事長 高橋 歩、福島支部代表 平 学から福島の現状、オンザロード福島の活動経緯などを話させて頂きました。

ファッションショー本番、ランウェイを歩く子ども達にはリハーサル時の緊張感はなく、自信が付き、心から楽しそうで達成感、満足感、笑顔にあふれていました。

旅祭へ来場していた来場者中、延べ500人の方たちにご観覧頂きました。保護者様はもちろん関係者皆さんがランウェイを一人歩く子どもたちに感動した様子が見られました。

ファッションショー後、子どもたちは、元気や人前に出る勇気を覚えたと話してくれました。



【活動の成果】

旅祭 WORLD JOURNEY FESTA 2012 へ子どもたち家族で引率支援目的は、今も尚続く放射能問題は子どもたちへのストレスの軽減を目的としておりましたが、放射能問題によるストレスは子どもだけに留まらず、どこでなら安心して遊ばせられるのか毎日生活する中で考えるご両親や、家族にも本当に大きく影響しています。

今回、子どもたち、そしてそのご家族を引率支援できた事は、本当に大きな意味があると感じました。また、「福島に住む自分たちの置かれた状況について再度考え認識不足に気がついた」等、保護者の方々の意見も聞く事ができました。

トークライブでは、ご来場していた多くの県外の方に震災から1年以上過ぎた福島の現状に耳を傾けて頂き、それが支援のグッツ購入、募金へと繋がり本当に嬉しく思ったのと同時に、県外の来場者との交流の場となった事で、意見交換やコミュニケーションの時間が増え、参加して頂いた方々、そして運営側にも今後の福島の明るい光の道しるべになったのではないかと考えられます。

今後の活動でも、福島の現状をより多くの日本中の皆様に伝え続けて行く活動を今以上に力を入れ、子どもたちや、そのご家族の方々のもつストレスを少しでも軽減できる活動を行っていきたいと思います。